

「超域文化社会センター（Center for Transregional Culture and Society, TCS）」は、旧文学研究科の「日本近現代文化研究センター」（2008年10月–2013年3月）、「アジアの中の日本文化」研究センター」（2013年4月–2018年3月）における日本近代文化および東アジア関係学研究を継承し発展させながら、さらに広い視野で最先端の人文科学研究を推進すべく、2018年4月に発足しました。TCSのミッションは、地球規模で喫緊の課題となっている社会・環境に関する諸問題に対して、根源的な観点から向き合い、持続可能な社会の創造に貢献することです。そのために、人類の歴史と人間の営みについてこれまで人文科学研究で培われてきた深い洞察と広い知見を踏まえつつ、社会科学・自然科学等の学術領域の協力も得ながら、国・地域を超えた視点から、歴史、芸術的想像力、思想、文化的実践を捉え直し、その知見を新たな実践知へと発展させることを目指します。